

園田先生との思い出

中村 吉史

卒業生代表

この度は、卒業生代表として園田先生との思い出を振り返るとともに、ご挨拶と御礼を申し上げます。園田先生が定年退職されるということで、本稿のご依頼があったときは、驚きましたが、大変光栄に思い、駄文ではございますが、しばし、お付き合い下さい。

私は、大学3年次から園田先生のもとで研究させていただきました。ドイツに興味を持っていたことありますが、園田先生のお人柄や雰囲気惹かれて、先生のゼミを選びました。皆様もご存知のとおり、「私について来い!」といった積極的に引っ張っていくようなタイプではなく、下支えといいますが、しっかりと裏側でサポートするといったタイプの方で、そこが園田先生の魅力であり、私が安心して研究できたこと、また、充実した大学生活を謳歌できたのは、園田先生のおかげでした。大きな存在でした。

ゼミにおいてもいろいろな思い出がありますが、特に、園田先生との思い出は、約2週間におよぶドイツへのホームステイ旅行です。ドイツ旅行へ行くことになった際、正直不安もありました。私にとっては初めての海外旅行、異文化、言語、食事等々の不安。これらの不安は、園田先生にご一緒していただけるということで無くなったのかもしれませんが。その旅行では、ホームステイ先であるハノーファーでは、生物教育センターや水力発電所などの公的機関、施設等を見学させていただき、環境先進国であるドイツを自分の目で見ることができ、素晴らしい経験となりました。これも園田先生のご人脈のなせる賜物であり、大変尊敬致しました。ほかに、ドイツでは、ハレ、ベルリン、ミュンヘン、ハイデルベルク等、様々な有名な観光地にも行かせていただき、私の人生の中で忘れることができない2週間となりました(余談:本当にドイツのビールはおいしかったです)。

この旅をご一緒させていただき、また、しっかりと支えてくださった園田先生は一生の恩師となりました。振り返りますと、大学時代における時間は、長い人生において非常に短いものですが、非常に重要かつ貴重で、その時間を園田先生と過ごすことができ、私は幸せでした。

最後に、ご在職中は、様々なご苦労があったと思います。私もその中で、ご迷惑をおかけしました。大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。今後は、お体には十分お気をつけて、ごゆっくりお過ごし下さい。園田先生、本当にありがとうございました。